

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
氷見市	柳田地区	令和3年3月24日	令和5年3月29日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	67ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	25.5ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	14.8ha
うち後継者が不明、未定の農業者の耕作面積の合計	13.9ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.8ha

### 2 対象地区の課題

地区内には畑地が多く、水田については概ね中心経営体への農地集積が進んでいるが、畑地については手続き面での課題も多く、中心経営体への農地集積が進んでいない。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水田の農地利用は、引き続き中心経営体（2経営体）が担うほか、入作を希望する認定農業者等の受入れを促進していく。また、畑地の農地利用については、中心経営体（2経営体）が担うほか、認定新規就農者の受入れ促進や新規設立法人への支援を行っていく。

（参考） 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
集	A	水稲 他	10.6 ha	水稲	0.5 ha	柳田
到達	B	水稲	6.6 ha	水稲	0 ha	柳田
認農	C	園芸	7 ha	園芸	1 ha	柳田、窪
認農	D	園芸	2.7 ha	園芸	0.3 ha	柳田、窪、島尾
計	4人		26.9 ha		1.8 ha	

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

地区内の認定農業者の下で新規就農する農業者について、農地集積や農業経営の支援を行っていく。また、関係機関と連携して畑地の台帳を作成（利用意向調査等）することで、中心経営体への農地集積を推進する環境を整える。

令和6年度より、川淵拓海氏が認定新規就農者（園芸）として中心経営体に加わる予定となっており、現在準備が進められている。関係機関と柳田地区で協力して支援していく。